

美術科学習指導案

題材名「13歳の心の空模様」

〔学指要領：「A表現」(1)ア(7)、(2)ア(7)「B鑑賞」(1)ア(7)〔共通事項〕(1)アイ〕

令和〇年〇月〇日(〇) 第〇校時 〇〇〇〇教室

〇〇立〇〇中学校 1年〇組 〇名 指導者 〇〇 〇〇

I 題材の構想

1 題材の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、自分の感情と関連付けながら全体のイメージを捉えることを理解する。 〔共通事項〕(1) 自分の表現意図に合った材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を工夫して表す。「A表現」(2) 	<ul style="list-style-type: none"> レタリングや色の学習などから、形や色彩がもつ美しさについて理解しており、伝えたい内容を表すための効果的な表現を見付けることができる。 材料や用具については、おおむね使用することはできるが、材料や用具の特性を理解した上で、意図に応じて選択し、制作に生かそうとする生徒は少ない。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出し、形や色彩などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。「A表現」(1) 作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。「B鑑賞」(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを言葉で表し、それらを組み合わせることで主題設定はできるが、主題と形や色彩との関係性を捉えながら構想できる生徒は少ない。 作品のよさや美しさを直感的に感じ取ることはできるが、造形的な視点を働かせながら作者の思いや表現の意図と工夫について考える生徒は少ない。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自らの気持ちを作品に表そうとしたり、作品から作者の心情や表現の意図と工夫などを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に創造活動に取り組もうとしたり、他者の作品に込められた意図や表現の工夫などに関心を持ったりする生徒は多いが、自分の考えを持たずに他者の考えに依存してしまう生徒も見られる。

2 評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ①形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、自分の感情と関連付けながら全体のイメージを捉えることを理解している。〔因〕 ②自分の表現意図に合った材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を工夫して表している。〔因〕
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ①感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出し、形や色彩などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。〔因〕 ②作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。〔鑑〕
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ①美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自らの気持ちを作品に表す学習活動に取り組もうとしている。〔態表〕 ②美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品から作者の心情や表現の意図と工夫などを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。〔態鑑〕

3 指導及び評価の計画 ※別紙参照

4 題材の価値

子供らしさと大人らしさを併せ持った13歳が、自分の心を題材にし、気持ちが揺れ動いた場面から主題を生み出したり構想を練ったりすることは、自分を見つめ直して自己理解を深めたり、自分らしい表現を追求したりすることにつながる。また、普段じっくりと自分を見つめ直す機会が少ない生徒が、自分らしさを表現するために、多様な材料や用具を用いて、試しの活動を繰り返すことにより、自分の表現意図に合った材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を工夫して表す力を高めることにつながる。さらに、自分の心と向き合うことは、友達が向き合っている友達の心や、表そうとしている主題への関心の高まりへとつながり、他者の作品のよさや込められた意図を感じ取ろうとする意識を育むことができる。このように自己理解と他者理解を深めながら表現活動に取り組むことにより、粘り強く最後まで取り組もうとする態度の育成につながる。

II 本時の学習（6／8）

1 ねらい 構想と表現方法との関係を見直し、自分の意図に応じた試しの活動を繰り返すことを通して、自分の意図に応じた表現方法を見付けることができるようにする。

2 展開

<p>主な学習活動 予想される生徒の意識〔S〕</p>	<p>○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p>S：前回決めた表現方法の他にも主題にもっと合った表現方法はないかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><めあて> 主題を基に、試しの活動を繰り返しながら自分の意図に応じた表現方法を見付けよう。</p> </div> <p>S：「はじめは不安だったけれど少しずつ中学校のリズムに慣れ、二学期は何事にも積極的に取り組みたい心の空模様」という自分の主題を、まずはスパッタリングを使って表現してみようかな。</p>	<p>○本時の活動への見通しを持てるように、前回考えた表現方法とまだ考えが固まっていない部分を開きかける。</p> <p>○自分の意図に応じた表現方法の適否を検討できるように、前時に考えた構想と主題とのつながりを問いかける。</p> <p>○主題に合う表現を見付けることができるように、本時は、何度でも試したり、前回考えた構想と異なる表現を取り入れたりできることを伝える。</p> <p>○互いの活動を見ながら意見交換し、自分の表現方法を見つめ直せるように、最初から3、4人グループの座席にする。</p>
<p>2 試しの活動を繰り返す。（35分）</p> <p>S：「積極的な感じ」を表すためには、赤や黄色の暖色でスパッタリングをすると効果的かな。</p> <p>S：前は「スパッタリングだけを使って自分の主題を表現しよう」と考えたけれど、友達が試している方法も取り入れたら、自分の主題に近付くかもしれないな。</p> <p>S：友達はアクセントを表現するために「補色」も取り入れていたな。「スパッタリング」に加えて絵の具による「補色を使ったにじみ」も取り入れて試してみよう。</p> <p>S：自分の思い描いている作品になりそうだと思ったから、この2つを取り入れることにしよう。</p>	<p>○いつでも試しの活動ができるように、「スパッタリング」と「ドリッピング」、「吹き流し」について、教室後方に体験コーナーを設置しておく。</p> <p>○構想の参考にできるように、絵の具を用いた様々な技法サンプルを黒板に掲示しておく。</p> <p>○互いの表現方法について質問したり、助言し合ったりしてよりよい作品にする足掛かりにできるように、主題を示したカードを生徒の机の上に添付しておく。</p> <p>○必要に応じて自分の作品に工夫を取り入れやすいように、試しの活動から新たな表現方法を見付けている生徒の試行作品を全体で紹介する。</p>
<p>3 本時の学習の振り返りをする。（10分）</p> <p>S：前回の授業では、どのような表現をするのかぼんやりとしていたけれど、色々と試したり友達の意見を聞いたりして、表現方法を見付けることができたな。今日は、「スパッタリング」と「補色を使ったにじみ」を作品に取り入れることを決めたから、次回の授業では、色の組合せや全体と部分の工夫をしてみようと思う。</p>	<p>○本時に取り組んだ活動を見返せるように、本時で見付けた自分の意図に応じた表現方法を撮影して記録するよう促す。</p> <p>○次時の制作への見通しを持てるように、主題に近付いた生徒の表現方法を全体で紹介する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目（思②） 授業の様子や学習カードの記述内容から「主題を基に、試行錯誤しながら自分の意図に応じた表現方法を見付けたか」を評価する。</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><振り返り></p> <p>S：前回までは、「スパッタリング」を使って何となく明るい作品にしようと考えていましたが、今回の授業を通して、「補色を使ったにじみ」も追加し、過去の不安だった気持ちを表現しようと思いました。中学校入学当初、小学校との生活の違いから不安になることが多く、特に勉強面への心配が大きかったけれど、友達に励まされて少しずつ前向きになれた自分の気持ちを表したいと思います。自分の気持ちにぴったりなにじみができるまで表現を繰り返したいです。</p> </div>	

<別紙>

3 指導及び評価の計画（全8時間：本時第6時）

※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
1	<ul style="list-style-type: none"> 絵の具を使って「嬉しい」を表現することを基に、13歳の心の空模様を考え、課題を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 題材の課題 13歳の心の空模様を形と色、表現方法を工夫して絵で表そう。 </div>	●		①
2	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちが揺れ動いた経験を基に、作品の主題を生み出す。 		①	●
3	<ul style="list-style-type: none"> 絵の具を使って「にじみ」と「ぼかし」、「吸い取り」の技法体験をする。(a) 	②		
4	<ul style="list-style-type: none"> 絵の具を使って「スパッタリング」と「ドリッピング」、「吹き流し」の技法体験をする。(a) 	②		
5	<ul style="list-style-type: none"> 絵の具の技法体験を基に、作品の主題を見直し、意図に応じた表現方法を考える。(a) 		●	
6	<ul style="list-style-type: none"> 構想と表現方法との関係を見直し、自分の意図に応じた試しの活動を繰り返す。(a) 		●	
7	<ul style="list-style-type: none"> 試行錯誤を繰り返しながら見つけた自分の表現を、自分の思いに近づくようにさらに工夫して表す。(a) 	●		
8	<ul style="list-style-type: none"> 完成作品を互いに鑑賞し、作者の表現の意図や絵の具を使った表現の工夫などを感じ取る。 			●

* 活用するコンテンツ等：(a) 教科書会社の参考作品